

# かお・人・interview

2020年8月7日

所長

インタビュー



国土交通省 九州地方整備局  
有明海沿岸国道事務所 所長

## 福崎昌博氏

masahiro FUKUZAKI

有明海沿岸道路の事業は、福岡・佐賀・熊本の3県を各県事務所が整備を進めてきた。それら県境を超えた体制強化のため、平成31年4月に新設されたのが、有明海沿岸国道事務所だ。管理が一元化されたことによって、供用中区間の所掌ができ、作業効率も高まった。新たに設置され一年経過した今、現在取り組んでいる事業や課題などについて福崎所長に話を伺う。

### Q 所長就任にあたっての抱負

有明海沿岸国道事務所は、地域高規格道路「有明海沿岸道路」の事業推進に向けて昨年4月に新設された事務所です。九州地方整備局の道路事務所で初めて3県(福岡・佐賀・熊本)を管轄し、これまで各県事務所で行ってきた大規模な整備事業を引き継ぎます。まずは、これまで各事務所が培ってきた信頼を損なわないように努めたい。



▲矢部川大橋

地域から信頼され、理解を得られる事務所でありたいと思っています。そのためにも、首長をはじめ地元の方々しっかりとコミュニケーションをとっていきます。当面の目標は、開通年度を公表している大川東IC～大野島IC間の令和2年度、大野島IC～(仮称)諸富IC間の令和4年度を1日でも早く開通させることです。そして、佐賀県側の開通区間の拡大に向けた事業に取り組んでいきます。事務所の体制については、風通しのいい、これまでの慣例にとらわれない職場を目指します。27人の少数精鋭ではありますが、しっかりと皆さんの期待に応えていきます。

### Q 九州や福岡県とのかかわり

九州の中では、福岡県内に長く勤務しています。九州技術事務所、福岡国道事務所、国営海の中道海浜公園事





有明海沿岸道路は軟弱地盤が特徴です。  
地盤改良には時間もコストもかかりますが  
整備は進められています。

務所、北九州国道事務所及び九州地方整備局にてさまざまな経験をしてきました。その中で一番印象に残っているのは、福岡国道事務所での国道 202 号福岡外環状道路 I 工区～II 工区の整備を担当していたことです。福岡市博多区立花寺～城南区堤の工事現場を担当しており、住宅密集地内で道路(一般道路)や共同溝(シールド工法、開削工法)の整備を行いました。同時期に福岡高速 5 号線(福岡北九州道路公社)の建設も行われており、地元調整や関係機関との協議及び工事の工程管理など、苦勞の多い現場でした。

佐賀県内では、佐賀国道事務所での佐賀唐津道路(国道 203 号巖木バイパス及び国道 203 号東多久バイパス)、国道 497 号唐津道路及び国道 3 号基山拡幅などの設計・積算に携わりました。巖木バイパス及び基山拡幅の供用を係長時代に経験できたことは、いろいろな面で良い糧となっています。

また、熊本河川国道事務所及び延岡河川国道事務所も思い出深いものがあります。延岡河川国道事務所では、東九州自動車道(県境～延岡)及び北方延岡道路(蔵田～北方 IC)において、かなりの数のトンネル工事や橋梁工事に携わりました。特に東九州自動車道において整備が最盛期を迎えていたため、効率的に工事を行い早く供用させることを主眼に整備を進めました。

これまで携わってきた道路は順次完成しており、現在、整備を進めている有明海沿岸道路を一日も早く完成させて通ることを楽しみにしています。



#### Q 当事務所の紹介(事業内容、組織、特徴)

有明海沿岸道路は有明海に沿って福岡・佐賀・熊本で整備される約 55 km の地域高規格道路です。福岡県内の有明海沿岸道路に関わる事業は、福岡国道事務所、佐賀県内は佐賀国道事務所、熊本県内は熊本河川国道事務所が所管していました。平成 15 年に福岡国道事務所・有明海沿岸道路出張所が設置され、有明海沿岸道路整備に係る事業を担い、現在は福岡県内において約 24km の供用区間があります。

昨年4月から県境を越えた更なる事業推進体制を強化するとともに、供用中区間の管理も所掌し、有明海沿岸道路の一体的かつ効率的な整備・管理を行うため、現在の組織を拡充し、新たに有明海沿岸国道事務所が設置されました。当事務所の組織は、令和2年4月に経理課が新設され、所長以下、副所長2人、建設専門官、建設監督官、総務、経理、工務、管理の4課27人で構成されています。

### Q 今年度の事業概要

令和2年度の予算(当初)は、有明海沿岸道路(大牟田～大川)が約17億円、大川佐賀道路が72億の合計約89億円であり、橋梁上下部工事・床版工事・舗装工事・地盤改良工事に他に用地買収を進めています。当事務所で整備を進めている令和2年度開通予定の有明海沿岸道路(大牟田～大川)の大川東IC～大野島IC間(3.7km)においては、(仮称)大川高架橋(約2.1km)の床版工事が全て完了し、現在伸縮装置の施工を行っているところです。その後、舗装工事に着手します。

(仮称)筑後川橋(約1.0km)の渡河部(約450m)においては、上部工工事が完了し、引き続き橋面舗装

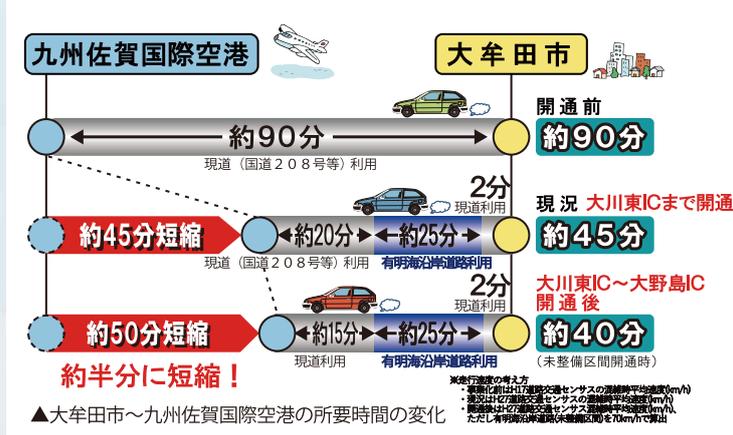


▲(仮称)筑後川橋ケーブル定着式(式典)

を行う予定です。インターチェンジ部においても軟弱地盤対策などの改良工事が進行中です。(仮称)筑後川橋のケーブル定着を祝う会が地元自治体によって昨年12月に開催されました。その中で、次の世代を担う地元の小学生や中学

生から、今までよりさらに安全で快適な生活ができ、交通の便が良くなり、地元が更に元気になる願いの詰まった「未来をつなぐ夢の架け橋」と(仮称)筑後川橋への想いや期待が述べられました。地元の期待に応えるため、1日でも早い開通を目指して工事推進を図ります。

### 九州佐賀国際空港までの所要時間が短縮



▲(仮称)筑後川橋

令和4年度開通目標の大川佐賀道路(9.0km)の大野島IC～(仮称)諸富IC間(1.7km)においては、(仮称)早津江川橋(約850m)の渡河部(約450m)において上部工工事の完成に向け、現在は地覆の溶接作業・鋼製高欄の設置中、今後作業構台の撤去を行っていきます。また、同橋の陸上部の下部工工事も対応しているところ です。

(仮称)諸富高架橋(約340m)については、下部工がすべて完成。上部工の製作・架設を行って います。また、インターチェンジ部の軟弱地盤対策など改良工事に取り組んでいます。

(仮称)諸富IC～西側の区間は、測量・地質調査・道路設計や用地買収などを行っており、早期に工事着手できるように事業を進めています。

### Q 地域との連携・協働について

当事務所では、「道守活動」や「地域のイベント・祭り」への積極的な参加を通して地域の方々との連携・協働を図っています。道守活動では、有明海沿岸道路沿線の「道守柳川ネットワーク」や「道守大川ネットワーク」において年数回開催される地域の清掃活動に、事務所職員、受注業者の方々、地域や企業の皆様と協働して取り組んでいます。

地域のイベントや祭りでは、大牟田市の大蛇山まつりや柳川市の白秋祭などに事務所職員やその家族等で参加しています。地域との連携を図りつつ、有明海沿岸道路事業のPR活動を行っています。

### Q 地域建設業への要望・メッセージ

道路整備を行う上でパートナーである建設業の方々には、地域インフラの整備と維持管理の担い手であり、災害時は地域の安全・安心を確保する地域の守り手として、なくてはならない存在だと思っています。今後も建設業の方々との連携を図りながら一緒に道路整備に取り組みたいです。

建設業における働き方改革への対応では、生産性の向上、週休2日の推進、若手技術者の確保や女性技術者が働きやすい環境が強く求められています。受発注者が互いに協力・連携して地域に貢献していく必要があるでしょう。それには、新技術やICTなどの技術を積極的に推進していきたいと考えています。



▲諸富IC付近 諸富高架橋



▲道守柳川ネットワーク

有明海沿岸道路の工事現場では、学生や地域の方々の見学会などを積極的に行っており、今後も継続して建設業の担い手確保に努めていきます。

### Q 趣味や健康法について

特別な健康法はありませんが、異動の多い仕事がかきかけで道の駅めぐりが趣味になりました。休日に九州や山口のさまざまな道の駅を、妻とふたりで行くのは目新しさもあり新鮮です。

道の駅は、土地の名物や観光土産が凝縮した場所。ドライブ中の気分転換の場所ですし、それ以上に個性豊かなサービスも興味深い。中には温泉入浴が可能などところもあります。数年前ですが、スタンプラリーにも参加し、さまざまな場所を訪ねたのもいい思い出です。

### プロフィール



出身地：長崎県  
 生年月日：昭和39年1月18日(56歳)  
 S57年4月 建設省入省  
 九州地方建設局 九州技術事務所  
 H24年4月 九州地方整備局 道路部  
 道路工事課 課長補佐  
 H25年4月 九州地方整備局  
 北九州国道事務所 副所長  
 H27年4月 九州地方整備局 福岡国道事務所 副所長  
 H29年6月 道路局 国道・防災課 道路防災対策室 課長補佐  
 H30年4月 道路局 環境安全・防災課 道路防災対策室 課長補佐  
 H31年4月 九州地方整備局 有明海沿岸国道事務所 事務所長(現職)